

chouseikai
Since 1945. Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 8 月号

発行 医療法人 長晴会
佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120
きりん新聞編集局

七夕

一年に一度、天の川を渡り織姫と彦星が再会するといわれている七夕ですが、星祭りとも呼ばれ、旧暦の7月7日に行われていました。新暦にすると、今年の七夕は8月14日なのだそうす。

きりんでは利用者様が短冊に「一〇〇歳まで元気に」「家族が元気でありますように」などの願い事を書かれ、笹竹に七夕飾りとともにしっかりと結ばれました。いつでも家族様の平穏を祈られている利用者様です。



天の川 干潟よか公園にて撮影

土用丑の日

7月28日、土用丑の日。きりんの昼食はうなぎ料理でした。「あらあ、今日は土用丑の日ね」利用者様は嬉しそうに舌鼓を打たれ、食後は「元気になった」「た気するね」と利用者様は嬉しそうにと会話も弾みました。午後からのリハビリでも「うなぎば食べたけん、足の強うなったやろう。」といつも以上に元気いっっぱいに取り組まれておられました。

毎日毎日、暑い日が続いておりますが、そんな暑さも、ものともしない利用者様の元気な笑い声に私たち職員も元気をいただいております。



少しずつ

新型コロナウイルスワクチン接種が進み、理美容の再開や食堂での昼食など少しずつ、元の状態に戻り、利用者たちにも笑顔が増えてきました。

面会も窓越し面会から、クリアシート越しではありますが、対面での室内面会へと変わり、利用者様、家族様ともに喜びの声を頂いております。皆様にはまだまだご不便をおかけしておりますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



清らかな心

利用者様の送迎中に素敵な蓮池をみつけました。アジサイの花の季節も終わり、蓮の花の咲く季節となりましたね。蓮の花の花言葉は、「清らかな心」と言われています。

仏教において泥水の中から美しい花を咲かせる蓮の花の姿は仏様の智慧や慈悲の象徴とされているそうです。



介護実習生

老健きりんに実習生が来ています。介護福祉士の資格取得のために、5週間の間、様々な体験を通し介護について勉強してもらいます。

利用者様は優しく実習生を迎え入れてくださり、まるでお孫様を見ているような眼差しで見守られています。

介護職はとても大変な仕事ではありますが、こうして人のやさしさに触れ、「ありがとう」と言っていただけの素晴らしい仕事だと、この実習期間で学んで立派な介護士になってくれることを願っています。

